

平成27年度 市長施政方針(要旨)

2月27日開会の第256回加西市議会定例会で、西村和平市長は平成27年度施政方針を述べました。

施政方針とは、市の基本方針となるもので、担当部署はこれに基づき施策を実施します。

全文は、市ホームページに掲載しています。

■市政運営の5つの基本方針

住民主体のまちづくり・人づくりの推進

産業振興と地域ブランドの促進

子育て支援の充実と教育環境の整備

健康づくりと福祉の充実

都市基盤づくりと定住促進

■新年度の5つの基本施策

①子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

すべての小中学校の耐震化を今年度で完了させるべく進めます。

新たに子どもたちの読書環境を充実させる学校図書館コーディネート事業を開始するとともに、学校ごとに魅力ある学校づくりを進める「学校づくり応援事業」の充実、一人ひとりの子どもに指導するスクールアシスタントなどの全校配置を継続します。また、中1ギャップの解消を図る小中連携を積極的に進めます。

子どもたちの安全な学校生活を確保するため、特別な支援が必要な児童生徒に対してスクールケアワーカーを新たに配置します。



泉中学校では耐震化が完了し、子どもたちが安心して学校生活を送っています。

②雇用と経済が元気を取り戻す加西

昨年開設した「加西市ふるさとハローワーク」では、若者や子育て世代などへの就労支援の充実を図ります。また定住基盤を整えるための良好な住宅地整備と若者世帯向けの補助制度を継続実施します。

経済活性化策の実施、農業振興策として新規就農・若手農業者への支援強化、集落営農の組織化と法人化を進めるとともに、新たな農業ビジネスモデルとなる次世代施設園芸モデル団地の支援を行います。

また、鶯野飛行場周辺エリアにおいて新たな道路の整備に着手し、戦争遺産を生かした総合整備を進め、播磨国風土記1300年記念祭に関しては、百年に一度の祭典として加西市を全国に発信します。



鶯野飛行場周辺エリアは、大きく生まれ変わります。

③誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

「加西市歩くまちづくり条例」を制定し、歩きたくなる、自然と歩いてしまう、住むだけで健康になれるまちづくりを進めていきます。

また、高齢者をはじめ全ての市民が安心して暮らすための施策を進めていきます。

子育て世帯の安心を実現すべく中学3年生までの子どもの医療費無料化に加えて、新たに保育料の値下げ、多子世帯への保育料軽減の拡充、学童保育の拡充などを実施します。



歩くことで健やかで幸せに暮らせるまちを創造します。

④地球に優しい環境都市加西

新エネルギー設備として電気自動車や太陽光発電に対する補助でエコ生活を促進します。

また、野生生物保護地区に対する補助制度を設け、希少動植物の生息する生態系の保全・再生活動を促進するとともに、自然環境教育の充実にも取り組みます。



エコ生活で豊かな地球環境を子どもたちに残していきます「電気自動車用急速充電器」

⑤パートナーシップによる地域経営

ふるさと創造会議の設立に向けて動き出した地域に対して、引き続き積極的な支援を行います。

また、「地域おこし協力隊員」を採用して若者の能力や感性を生かした魅力ある地域づくりを行うとともに、産官学連携による地方創生事業などさまざまな手法で若者や女性が活躍できるまちづくりを進めます。



創造会議は6校区で設立され、3校区で設立準備が進んでいます。

「5万人都市再生」の個々の施策は、まさに国の地方創生の取り組みと重なります。確信を持って、集中と選択により、必要な事業を今まで以上に積極的に実施し、「ふるさと加西」の再生に向けて大きく飛躍する年になることを目指します。

市民の皆さまのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

平成27年度予算の概要

加西の元気力を引き出し、「5万人都市の再生」へ向けて、子育て支援や定住促進などの施策を重点的に実施していきます。国の平成26年度補正予算の補助金を活用し、事業の一部を平成26年度予算に前倒ししています。

昨年度と比べ予算額が増加した主な理由は、学校施設や市民会館の耐震化費用が増えたためです。子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるよう、重点的に実施します。

一般会計	204億8,000万円	(対前年 13.8%増)
特別会計	109億4,400万円	(同 4.5%増)
企業会計	144億9,699万円	(同 12.4%減)
総額	459億2,099万円	(同 2.0%増)

■市民1人あたりの予算の使い道

区分	市民1人あたり
民生費(福祉の充実)	130,000円
教育費(学校施設・スポーツ振興)	68,000円
衛生費(保健・環境)	55,000円
議会費・総務費(行政の運営)	54,000円
労働・農林業・商工費(産業・観光)	44,000円
土木費(道路・公園・区画整理)	42,000円
公債費(借金の返済)	36,000円
消防費(消防)・その他(予備費など)	18,000円
計	447,000円

※1月末現在の人口45,786人として算出

■平成27年度予算の主な施策

●子育て支援・教育

学校施設耐震化(※) 20億1,596万円

九会・下里・賀茂・富田・西在田小学校校舎の耐震化工事および小中特別支援学校の体育館・武道場の非構造部材落下防止工事。今年度で学校の耐震化が完了。

学童保育事業 1億1,928万円

北条東学童保育園専用棟を建設。また、小学1～6年生を対象に全校区で学童保育を実施し、開園時間を18時30分まで延長。

妊婦健診助成事業 2,420万円

健診助成費の上限を75,000円から95,000円に引き上げ

北条高校活性化事業 1,300万円

放課後に塾講師が講習を行う「アフタースクールゼミ事業」などの支援

●まちづくり・雇用

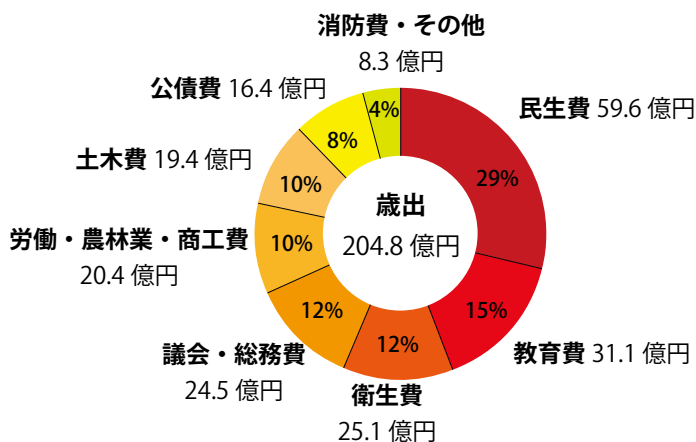
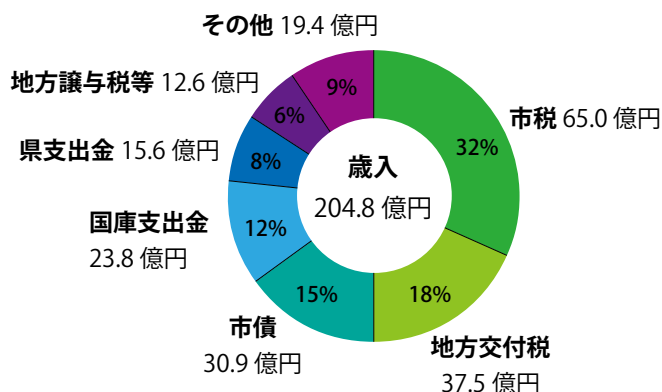
播磨国風土記1300年記念事業 4,000万円

5月4・5日に玉丘史跡公園で、新作能・狂言の披露やグルメフェアなどのイベントを開催。全国に加西市を発信。

※平成26年度への前倒し予算を含んでいます。

■平成27年度一般会計予算

市税収入65億円に国・県の補助金などを加えた金額を財源として204.8億円の事業を行います。



共通商品券事業 4,200万円

「なっぴ〜商品券」のプレミアム率を5%から20%に引き上げ、総額で2億円分発行

地域おこし協力隊事業 658万円

加西市の地域資源を生かし、地域活性化活動を行う都市部の若者を「地域おこし協力隊」として任命

●人口増に向けた施策

西高室区画整理事業 1億3,672万円

有効な土地活用を図るため、不整形な農地を区画整理し、平成29年度までに住宅地を造成

若者定住促進事業 3,260万円

「住居を新築・購入する若者世帯」や「民間賃貸住宅に居住する新婚世帯」に対して費用の一部を補助

空き家活用事業(※) 1,340万円

「市街化区域内の空き店舗を活用して創業する事業者」や「空き家への居住希望者」に対して費用の一部を補助

●都市基盤整備

道路等整備事業(※) 8億7,470万円

幹線道路の整備、橋梁の修繕、通学路安全対策。西谷坂元線自転車・歩行者用BOX工事や鶉野飛行場線工事